帝京ロンドン学園
Teikyo School UK
Framewood road,
Wexham,
Buckinghamshire
SL2 4QS

Teikyo School United Kingdom Newsletter

学園通信

2026 年度 10 月号

・ホームページ
https://teikyo-london-uk.teikyo.jp/
・連絡先
teikyo.school@teikyoschool.uk

1.学校長挨拶

錦秋の侯、保護者の皆様方におかれましては、益々御清祥のこととお喜び申し上げます。

英国は 10 月 25 日(日)より冬時間に移行し、日本との時差も９時間となり、いよいよ冬がまじかに迫っております。10 月に学園では以下に御報告申し上げておりますように、様々な学校行事を実施することができました。

トラファルガー広場での Japan 祭りの御神輿担ぎに始まり、ハイドパークでの 5km チャリティラン、保護者を講師に迎えての英国文化講演会、Burnham Grammar School の生徒約 60 名を迎えて日本文化紹介を行った Japanese Day、近郊の Gerrards Cross での公園整備ボランティア、保護者の方々7 名の御協力による進路対話会など、いずれも保護者の皆様の御理解と御協力なくしては実現できないものであり、あらためまして、本校の教育活動全般に対し賜りました御支援に対し、深謝申し上げる次第です。

また、学習面での１０月は、１年生は高校の授業への適応を完了し、来年度からの科目選択を通して高校生活全体のイメージを固める時期であり、２年生は各自のコースにおける学びを深め、３年生は進路希望の実現に向けて全力を尽くす時期となります。

校訓 DISCENDO CRESCE「ディセンド・クリーセ」（学びを通して、成長せよ）が生徒諸君を導くよき道標となることを願ってやみません。

さて、以下は 10 月 15 日(木)に実施いたしました Japanese Day の冒頭、来校の Burnham Grammar School の生徒に対して行いました挨拶です。措辞で恐縮ですが、日本語訳もつけておりますので御一読いただければ幸いです。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。また時節柄、御家族様御一同、御自愛ください。

帝京ロンドン学園校長 濱田 幸裕

Ohayo-Gozaimasu! Good morning, everyone. My name is Yukihiro Hamada. I am the Headteacher of Teikyo School. To all the students of Burnham Grammar School, welcome to Teikyo School's 'Japanese Day'.

With its Japanese heritage, Teikyo School is a unique British-style school. As modern nations, Japan and the United Kingdom share common values such as democracy, the rule of law, individual freedom, and mutual respect and tolerance for different faiths and beliefs.

Furthermore, both countries are island nations and have a monarchy. However, over the course of our long histories, each has developed its own distinctive culture.

Today, you can experience Japanese culture first-hand right here. Please make the most of this opportunity. We have been preparing for today's event for a long time. All our students here today are 'ambassadors' for Japanese culture. So, if you have any questions, please do not hesitate to ask.

We hope that this event will serve to strengthen the bonds between Teikyo School and Burnham Grammar School and deepen your understanding of Japan and Japanese culture. Now, let us all enjoy this occasion together.

（対訳）皆さん、おはようございます。私は濱田幸裕と申します。帝京ロンドン学園の校長を務めております。バーナム・グラマースクールの生徒の皆さん、帝京ロンドン学園の「Japanese Day」へようこそ。

帝京ロンドン学園は、日本の伝統を受け継ぎつつ、英国式の教育を行うユニークな学校です。

現代国家として、日本と英国は、民主主義、法の支配、個人の自由、そして異なる信仰や信念に対する相互尊重と寛容といった共通の価値観を共有しています。さらに、両国とも島国であり、君主制を採用しています。しかし、長い歴史の中で、それぞれが極めて独自の文化を築いてきました。

今日、皆さんはここで日本文化を体感することができます。ぜひこの機会を大いに活かしてください。私たちは、本日のイベントに向けて長い間準備を進めてまいりました。本日ここにいる生徒たちは皆、日本文化の「大使」です。ですから、何かご質問がございましたら、どうぞ遠慮なくお尋ねください。

この行事が、帝京ロンドン学園とバーナム・グラマースクールの絆を強め、日本および日本文化への理解を深めるきっかけとなることを願っております。さあ、みんなでこのひと時を楽しみましょう。

2、Japan 祭り（渉外課より）



（Instagram の投稿 ① ②）

10 月 4 日（日）、全校生徒でロンドンのトラファルガー広場で開催された **Japan Matsuri** に参加しました。毎年多くの来場者で賑わうこのイベントでは、本校のお神輿も披露され、生徒たちは力を合わせて会場内を練り歩きました。威勢の良い掛け声とともに担がれるお神輿は今年も多くの来場者の注目を集め、会場は大いに盛り上がりました。日本の伝統文化を海外で発信する貴重な機会となり、生徒たちにとっても日本文化の魅力や意義を改めて実感できる一日となりました。多くの方々から温かい声援や拍手をいただき、生徒たちは達成感と誇りを感じている様子でした。

その後、**大英博物館**に移動し、世界的に著名な建築家 **ノーマン・フォスター** が設計を手掛けた「グレートコート」を見学しました。ガラスと鉄骨で構成された壮大な屋根は、自然光を館内へ取り込みながら歴史的建造物と見事に調和しており、建築が生み出す開放感や美しさを体感することができました。生徒たちは、伝統と現代技術が融合した空間に深い感銘を受けていました。他にも、古代エジプトのミイラや、古代文字解読の鍵となったロゼッタ・ストーン、現在も利用されている歴史ある図書館空間など、人類の歴史や文化を伝える貴重な資料に触れることができました。

日本文化を発信する体験と、世界最高峰の文化・歴史・建築に触れる体験の両方を味わうことができた今回の校外活動は、生徒たちにとって視野を広げる大変有意義な機会となりました。異なる文化や歴史に直接触れることで、国際社会の中で自らの文化を見つめ直し、多様な価値観への理解を深める一日となりました。







3、クロスカントリー（体育科より）



（Instagram の投稿 ① ② ③）

本年度のクロスカントリーは、体育委員会の希望により、Great Ormond Street Hospital for Children（GOSH）のためのチャリティランに参加しました。Great Ormond Street Hospital は、ロンドンにある小児専門病院で、さまざまな重い病気や複雑な症状を抱える子どもたちの治療や研究を行っています。

今回のチャリティランでは、生徒たちが 5km を走るだけでなく、自分たちの活動を通して、病気と闘う子どもたちを支えるための募金活動にも取り組みました。体育委員が作成したポスター（ポスター① ②）を Japan 祭りや学校のスイミングプールを利用している方々に配り、直接支援を呼びかけました。そして、卒業生や保護者の方々、学園のスタッフたちからも寄付が集まり、£718 が寄付することができました。ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

レース当日は快晴で、たくさんの人々が参加する中、Hyde Park の景色を楽しみながら、多くの生徒たちが昨年度や練習の記録を更新し、全員が完走することができました。同じ 5km を走るなら、誰かのために走りたい！と頑張った皆さんを誇りに思います。

（引き続き子ども病院の新しいがんセンター設立のための寄付を受け付けています）













4、キャリア学習(進路指導部より)

10 月 26 日（月）、グローバルな分野で活躍されている在英の保護者 7 名をお迎えし、進路対話会を開催いたしました。 ゲストの皆様には、ご自身の生い立ちやキャリアの歩み、現在携わっている業務や仕事の醍醐味、現在のキャリアを歩むきっかけとなった経験、さらには社会の最前線からの未来予測に至るまで、分かりやすい資料とともに様々な角度からお話をしていただきました。 コースや科目選択に悩む 1 年生、高校生活の折り返しを迎えた 2 年生、卒業後の進路を見据える 3 年生と、誰もが将来への不安を抱きやすいこの時期に、人生の先輩方が生き生きと語るお姿に触れられたことは、生徒たちにとって素晴らし

い経験となったはずです。 ご多忙の折、貴重なお時間を割いてくださった保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。






5、Japanese day（T-CAS 担当より）

10 月 15 日（木）に開催した Japanese Day では、現地校の学生たちに日本文化を紹介しました。天気にも恵まれ、学園の敷地全体を使って屋内外で様々なアクティビティを行いました。T-CAS の授業で準備を進め、当日はサッカーコース、アートコース、DP1 生の協力もありイベントは大盛り上がりでした。アクティブを担当した班は Ninja Star Target　Shooting/ Janken Game/Daruma’s Life Game、クラフト班は Puraban-making、カルチャー担当の班は Tea Ceremony/　Mochi Making を行いました。休み時間には一緒に昼食をとるだけでなく、テニスやサッカーをして有意義な時間を過ごすことができました。終了時には「楽しかった」との声をたくさん聞きことができ、自分で制作したプラバンや折り紙を自慢げに見せてくれる子も。生徒たちの努力が実を結び、充実したイベントとなりました。






6、イギリス文化講演会（図書課より）

10 月 14 日（水）の 3・4 限に、メゾン・プリムロー株式会社代表取締役で菓子研究家の牟田綾乃様をお迎えし、「英国菓子とイギリスのティータイム」と題してご講演いただきました。ご専門である英国菓子の種類や歴史について、さまざまなエピソードを交えながらお話しいただきました。講演後には、英国菓子の代表格であるスコーンの楽しみ方や紅茶の作法を教わりながら、全員で優雅なクリームティー（ジャムとクロテッドクリームを添えたスコーンと紅茶）を楽しみました。

生徒からは、「英国菓子と紅茶が世界史と密接に結びついていることが分かり、興味深かった」「スコーンを初めて食べたが、思っていたよりずっとおいしかった」といった感想が寄せられ、英国の食文化への理解を深める貴重な機会となりました。






7、St Bernard's school visit（KBK より）

The main activity was making Tsukimi dango together. After a short introduction, the students worked in small groups to make it. At first, some students were unsure what to do, but soon they started talking and helping each other.

After making the dango, everyone enjoyed eating them together. Many of the visiting students tried Tsukimi dango for the first time and said they were delicious.

As a member of KBK, I helped organise the event. I was happy to see students from our school and St Bernard’s enjoying the activity together.

Through this event, we learned that sharing Japanese culture can help us make new friends. We hope everyone enjoyed this special experience, and we look forward to more cultural exchanges in the future.

(KO2 Student)







8、エコ委員会活動報告（エコ委員会より）

今回のボランティア活動では、茂みの木を整備する作業を行いました。活動を通して、みんなで協力しながら一つのことを成し遂げる大切さを学びました。また、地域の方々と関わることで、地域の人とのつながりを深めることができ、とても良い経験になりました。今回の経験を今後にも生かしていきたいです。

(Ko2 Student)





９、各コースより

サッカーコース ⚽

Tactic League は４節を終え、未だ負けなしで単独首位をキープ。

先日の Uxbridge college 2nd(Chelsea)では１１－３と大勝し、本校生徒も５点に絡む活躍をみせました。１年生の一人はこの試合でデビューを飾り、２得点をあげチームメイトからも祝福をされました。

また、上位レベルの Beaconsfield town FC U-18 にもデビューを飾った生徒もいます。普段の練習や試合での活躍が認められ、先日のカップ戦に出場。そのうち一人は１年生でしかも GK として出場。結果としては PK 戦で敗れましたが、合計３本の PK を止めるなど隠れた才能を発揮。

このように、いつどこでチャンスが巡ってくるかわからない。そのためいつでも最高の準備をしていつ呼ばれてもその時の最大のパフォーマンスを出せるように日頃の活動に取り組んで欲しいです。

18 日（日）には Brighton vs Crystal Palace のプレミアリーグを観戦してきました。残念ながら三苫選手は怪我で見ることはできませんでしたが、Crystal Palace 所属の鎌田選手のプレーを間近で見ることができました。







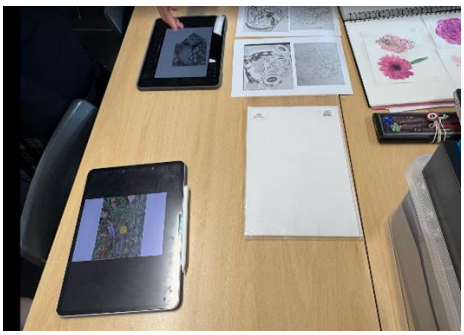



アートコース 🎨

ISCA による Art & Design の授業では、「現在取り組んでいるテーマは何ですか？」というクリス先生からの問いかけから授業が始まりました。テーマを確認した後、生徒たちは植物の観察や撮影、スケッチを行い、iPad を活用したコラージュ制作に取り組みました。普段使用しているアプリを用いながら、撮影した植物の画像を拡大・縮小し、構成を工夫しながらまずは線画を制作しました。その後、具体的な形を組み合わせて再構成し、抽象的な表現へと発展させた作品づくりを進めました。Fashion & Textile の授業

では、編み物やフェルト制作に挑戦しました。編み物やフェルト制作に初めて取り組む生徒たちは苦戦する場面もありましたが、リサ先生から一人ひとり丁寧な指導を受けながら、根気強く制作に取り組んでいました。

また、水曜日の授業では、“ガウディ建築を基につくる『白い世界』”をテーマに、建築模型の制作を行いました。事前に、アントニ・ガウディが自然界の植物や生物の形から着想を得て、直線だけでなく有機的な曲線を巧みに用いた建築を生み出したことを学び、その造形の特徴について理解を深めました。現在は、完成した造形物を観察しながら、その曲線の美しさや光と影によって生まれる形の変化に注目し、鉛筆デッサンに取り組んでいます。一方、静物デッサンに取り組んでいる生徒もおり、質感や立体感、陰影や距離感などを鉛筆で丁寧に表現しています。





１０、IB ディプロマプログラム(IBDP)

1) IBDP 教科説明会

今年度は、IBDP の選択を希望する生徒が過去最多となる 6 名となり、ディプロマプログラムへの関心の高まりが感じられます。

今回は例年とは形式を変更し、各教科のブースを設ける形で実施しました。生徒たちは、自分が知りたい科目のブースを自ら訪れ、担当教員の説明を聞いたり、積極的に質問したりしながら、それぞれの科目について理解を深めました。

自らの学びに必要な情報を主体的に求め積極的に行動する姿勢は、IB の学習においても大切にされているものです。今回の説明会も、生徒たちが主体的に進路や学習について考える機会となりました。

11 月からはいよいよ IB の選考試験が始まります。今回の説明会で得た学びや気づきを生かし、生徒一人ひとりが自分の将来を見据え、次の一歩を踏み出してくれることを期待しています。




2) DP２Biology の内部評価課題（IA）の成果発表

DP2Biology の授業では、IBDP の内部評価課題（Internal Assessment：IA）として取り組んできた研究の成果発表が行われました。今回の発表では、

①「ジャガイモ抽出液の濃度変化が、１%H_2O_2と混合した際に発生させる酸素量に与える影響」

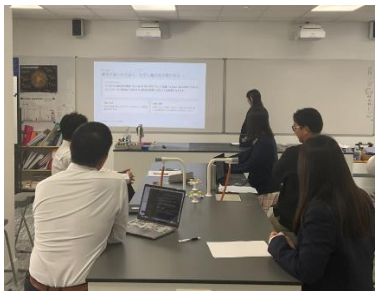
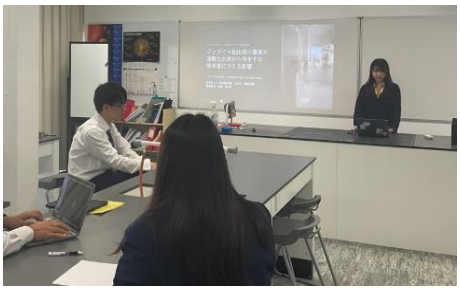
②「蜜源植物の異なるハチミツの抗菌物質の効果」

という 2 つの研究テーマについて、それぞれの生徒が研究の成果を発表しました。

生徒たちは、自ら設定した研究テーマに基づき、長期間にわたって実験やデータ収集を重ね、研究を進めてきました。思うような結果が得られず、実験方法を見直したり、データを取り直したりと、試行錯誤を繰り返したりする場面もありましたが、さまざまな困難を乗り越えながら自分たちの研究を最後までやり遂げました。

今回の成果発表は、これまでの研究の過程を振り返り、自らの学びを形にする貴重な機会となりました。

長期間にわたる研究に粘り強く取り組み、最後までやり遂げた DP2 生の皆さんに、心から拍手を送りたいと思います。






１１、寮だより

近隣のボーディングスクール Eton College の文化祭に行ってきました。各ハウス（寮）で運営される出店やゲームコーナーはバラエティー豊かで、地域のクラブのダンスやコーラスの発表もあり、楽しい時間を過ごしました。








ボランティア

毎月、Hammersmith 公園内の日本庭園で行われているボランティア活動に参加しています。ゴミ拾いや植木の剪定、池の水草を取り除く作業をして、歴史のある日本庭園を美しく保つお手伝いをしています。（Instagram の投稿 ①）





毎週、近隣の高齢者施設に訪問し、一緒にお茶をしたりお話をしたりしています。日本に興味津々な利用者さんたちに日本の生活や学園での行事について話して、毎週楽しく温かい時間を過ごしています。



